

麻 酔 科

手術室や検査の部屋での全身麻酔のお話です。

生まれたばかりの小さな赤ちゃんも手術や検査に全身麻酔が必要になります。様々な侵襲からお子様を守るために、また安全で確実な麻酔を行うために小児専門の麻酔科医がいます。



麻酔は手術が行われている間の痛みを除くとともに、お子様の状態を厳重に見守り手術が安全に行えるように全身の管理をします。血圧、心拍、呼吸、体温、体内を流れる血液の酸素濃度などの全身状態が正しく管理された状態で手術を安心して受けることができます。



全身麻酔のはじめは、注射で眠る方法と、麻酔ガスを吸って眠る方法があります。小児では麻酔ガスで眠っていたことが多くあります。

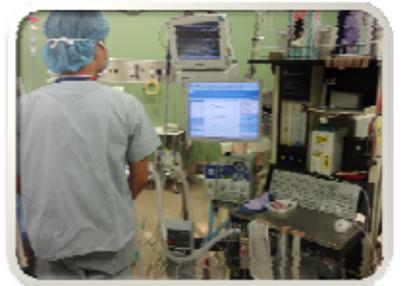


親同伴の麻酔の導入（手術当日入院患者さんの一部で行っています）



麻酔ガスは少し甘いにおいがしますが、希望によりイチゴやメロンのにおいを付けます。

全身麻酔器には酸素や麻酔ガスを流すだけではなく、人工呼吸器や加温加湿器、モニターなど付いて安全に麻酔ができるようになっています。



全身麻酔器は酸素や空気、麻酔のガスが確実かつ正確に流れるようになっています。安全性も確立させていなければなりません。麻酔のガスが室内に漏れないシステムになっています。



手術室の酸素と麻酔ガスの配管



緑は酸素
青は亜酸化窒素（麻酔ガス）
黄は空気（人工空気）
それに余剰ガス吸引と裏側に吸引装置があります。

要注意

日本では中央配管のガスを示す色と、ポンベの色が違います。

区分	酸素	笑気	空気	窒素	炭酸ガス	吸引
ポンベの塗色 「高圧ガス保安法」	黒	ねずみ	ねずみ	ねずみ	緑	
中央配管設備 「JIS T 7101」	緑	青	黄	灰色		黒

この緑のポンベは炭酸ガス
酸素のポンベは黒です。

